
H23年 2級製図講習会学習プログラム

趣味(自転車)室のある専用住宅(木造2階建)

注意事項

1) 講習会初期の学習

7月17日(日)から講習会が始まります。講習会は想定課題を通じて解答訓練を行う学習をメイン学習としますが、製図が全く初めての受講者には、最初に製図の基本が必要です。以上から第1回、第2回は製図の基本を練習します(最初から課題の解答訓練に入る、他の講習会があるようです)。既に昨年受験した受講者はそれなりに実力があるとは思われますが、初心者も経験組みも全員同じ歩調で、同じ講習を進めたいと思います。

2) 日曜コース、水曜コース、夜間コースについて

日曜コース、水曜コース、夜間コースではここに書かれた学習内容、教材等一部異なる場合があります。なお、この学習プログラムは講習会の統一を図るためのものであり、一部現場の講師により、学習方法がこのプログラムと異なる場合もありますので含みおき下さい。

3) 講習会を欠席した場合

欠席した場合、それに対する補講等はありませんので、毎回出席を目標に受講して下さい。なお、都合により、欠席した場合、その日の教材(配布物)は、郵送等一切行いません。毎回人数分用意していますので、次回教室で自分で配布物置き場あるいは講師から受け取って下さい。あるいは、隣人に前もって自分の分を余分にもらっておくのも確かな方法です。欠席が前もって解っている場合は、予め講師に一言伝えておき、次回前回の学習内容の指示を受けるという方法もあります。

4) 講師の添削について

添削は講習会における学習のみとして、宿題及び他社教材の添削はおこないません。ですから、不明な点や、質問事項等は、講習中に処理を前提に、遠慮無く巡回の講師に聞いて下さい。似たような質問が多い場合は、まとめてその点を重点的に全員に指導したいと思しますので、その辺も含めて講師に遠慮無く言って下さい。

5) 時間外質問について

講習会終了間際あるいは終了後の個人的質疑は受け付けませんので、時間内に講師に質問するようにして下さい。

6) 遅刻について

どこの講習会でも同じですが、講習には開始10分前には着席で、送れて教室に入室しないようにして下さい。遅刻しますと、講習のリズムを崩し他の受講者に迷惑がかかります。

7) 欠席と講習料金について

講習会を欠席し、受講しないから、その回数分返金ということには一切応じていませんので、毎回必ず参加し実力アップを図って下さい。

8) 携帯電話に関して

皆さん社会人で、建築現場との連絡もありますので、受講中電源オンでOKです。しかし会話は廊下に出るようにして下さい

9) 喫煙について

防火及びマナー上指定場所での喫煙をお願いします。

10) 製図用紙について

製図用紙は15枚2000円、30枚3000円で送料税込みです。もし、もったいない場合は、自分でキャドで作成しても、コピーしたもので練習してもOKです) A3版なら大手文具店で売られていますので、それでもかまいません。しかし、細かなタッチなどから、なるべく指定の用紙で練習することをおすすめします。

学習日程表



日曜コース，水曜コース日程表

学習予定表（課題番号等変わる場合があります）

下記に準じた日程で、学習を進めたいと思いますが、現場の状況により変更もあります

回	日程	学習テーマ	使用教材	時間
第1回	7月17日(日) 7月20日(水)	製図の基本と平面図の練習	練習シートNO. 1～5 宿題課題 1	9:30～17:00
第2回	7月24日(日) 7月27日(水)	かなばかり図のかき方	課題 1 宿題課題 2	9:30～17:00
第3回	7月31日(日) 8月3日(水)	立面図・断面図のかき方	課題 2 宿題課題 3	9:30～17:00
第4回	8月7日(日) 8月10日(水)	エスキス技法と床伏図	課題 3 宿題課題 4	9:30～17:00
第5回	8月14日(日) 8月17日(水)	模擬試験	課題 5 宿題課題 5	9:30～17:00
	学科合格発表	8月23日(火)		
第6回	8月21日(日) 8月24日(水)	屋根伏図・床伏図と部材寸法	課題 6 宿題課題 6	9:30～17:00
第7回	8月28日(日) 8月31日(水)	フリーハンドの練習 本年度課題の要点	課題 7 宿題課題 7	9:30～17:00
第8回	9月4日(日) 9月7日(水)	模擬試験と最後のまとめ	課題 8 宿題課題 8	9:30～17:00

*** 製図本試験 9月11日(日)**

水曜夜間コース

上記日程で、水曜コースとほぼ同じ学習内容をおこないます。夜間の3時間で時間内に終わらないものは、宿題として自宅で行います。以上が夜間コースと昼間コースの大きな違いですが、自己管理さえしっかり行えば、夜間コースも昼間コース同様の学習効果が昨年確認されています。

第1回 7月17日(日) 7月20日(水)

講習会の学習テーマ

- ・ 二級建築士オリエンテーション
- ・ 製図の基本と平面図の練習



本日の時間割

9:30 ~ 10:00	二級製図試験オリエンテーション (30分)
10:00 ~ 12:00	別紙練習シートで製図の基本の練習
12:00 ~ 12:50	昼休み (50分)
12:50 ~ 15:00	別紙練習シートで製図の基本の練習
15:00 ~ 16:45	別紙練習シートで製図の基本の練習
16:45 ~ 17:00	”宿題等連絡事項”

二級製図試験オリエンテーション

1) 二級製図試験とは

4時間半で建物の計画から、作図(製図)を行い設計図を完成させる試験です。実務であるならば、最低でも1週間以上はかかる作業量を試験においては4時間半というかなり短い時間で行います。ですから、実際の設計とは異なる試験テクニックなるものが 필요합니다。建築士の試験では、デザインや細かなことは問いません。大事な事を守って設計を進めることが合格の鍵と言えます。今後約9回の講習会を通して、それらの試験テクニックを練習していきます。それには、講習会に休まず、遅刻せず、決められた宿題は必ず提出して下さい。

2) 製図の経験がなくても合格します。

受講者の中には、図面はかいたことも見たこともないので、本当に合格できるのにはなはだ不安だという受験者が多いようです。元々、受験者の大半はそのような人々ですので、心配無用です。講習会では、製図道具の使い方、線の引き方、平面図の描き方など、初歩の初歩から学習していきます。不明な点は遠慮無く講師に聞いて下さい。まず休まず、遅刻せず出席することが大切です。宿題ですが講習会の時間の中では足りない学習を補うものですので、実力アップ上宿題は大事です。良く言われている事ですが、図面は最低でも30枚描けば試験に合格すると言われていています。製図は実際に自分で描いてみて、製図力が身に付きます。自分は他人と比べて、作図スピードが遅いと思われる受講者は、他人の倍練習する気持ちが大事です。建築士学院では倍速作図法という特殊な技法で製図しますが、その技法を守り、練習を積み重ねれば誰でもスピーディーに製図できるようになります。

第2回 7月24日(日) 7月27日(水)

講習会の学習テーマ

- ・ 課題1の学習
- ・ かなばかり図の練習(シートN07 . N08)



本日の時間割

- 9:30 ~ 9:40 ” 本日の学習内容など連絡事項 ”
- 9:40 ~ 10:00 線種の使い分け、図面のメリハリなど上手な受講者図面を壁(黒板に)貼り他人の図面と自分の図面を比べてみる。
- 10:00 ~ 12:00 ” かなばかり図の練習 ” グリッド倍速作図法の作図順序に従ってかなばかり図を完成させる。全員一緒に学習を進める。ステップ毎にかき進める。
- 12:00 ~ 12:50 昼休み
- 12:50 ~ 13:20 ” 課題1 問題文の読み合わせ ” 講師が大事なところをマークさせる。
- 13:20 ~ 14:20 ” 課題1 解答例によりの平面上のポイントをみんなで学習する
- 14:20 ~ 16:45 ” 課題2 解答例のコピー(複写)”
未完の部分は自宅で完成させること。
- 16:45 ~ 17:00 ” 宿題等連絡事項 ”

問題文読み合わせ及び課題1 解答に必要な計画を学習

講師は問題文を読む際のポイントどこかを解説します。

課題1を解答する上で必要な、外構の配置や、間取りの基本事項をいわば補助輪付自転車感覚で受講者に解説します。それに合わせて受講者は重要事項を蛍光マーカーでマーキングします。以上の知識を元に、各受講者は自分で設計製図、あるいは複写により一式図を完成します。

かなばかり図について

別紙A2及び、A3のグリッド倍速作図法からの抜粋記事を利用して学習します。かなばかり図は大変難しい図面で、設計事務所でも、新人ではなく、先輩が書くのが一般的です。つまり設計上のノウハウが凝縮していますので、元々難しい図面です。かなばかりをかきませんと、断面図、立面図がかけません。窓の部分や、梁の部分、サッシ廻りの部分など、形状と寸法を暗記していないとかなばかりの図はかけません。かなばかり図をより理解するために、シートN0.8の各部分詳細図を練習してください。

本日の宿題

課題2の一式図作成。かなばかり図を自宅で最低2回練習します。
シートN0.8の各部分詳細図をトレースしてください。

第3回 7月31日(日) 8月3日(水)
講習会の学習テーマ

- ・ 本試験問題文の活用法 (課題2 使用)
- ・ 立面図と断面図の練習



- 9:30 ~ 9:40 連絡事項”(本日の学習概要について)
- 9:40 ~ 11:30 立面図と断面図の練習を書籍「グリッド倍速作図法」を元にして全員でステップごとにかき進める。終わったら今度は自分でかいてみます。つまり、立面図、断面図をそれぞれ2枚ずつ、計4枚かくことになります。
- 11:30 ~ 12:00 作図チェックリスト(作図編)”を使って自分で自分の図面を採点或いは添削してみます。その後時間があれば講師にも添削してもらいます。
- 12:00 ~ 12:50 昼休み
- 12:50 ~ 13:00 課題2 問題文の読み合わせ (大事なところは蛍光ペンでマークします。)
- 13:00 ~ 16:20 課題2 解答例を複写する
 複写しながら、住宅やの間取り、家具のレイアウトや寸法、
 外構で植栽や駐車場の計画の手法を覚えて行く。(自分で解答できる人は自分で解答してください)
- 16:20 ~ 16:40 課題2 解答の要点どころや改良箇所などを講師が説明します。
- 16:40 ~ 17:00 連絡事項

1) 課題2 問題文の読み合わせについて

1 最初に問題文の読み合わせを行います。講師が問題文で大事な箇所を説明しますので、受講者は赤鉛筆あるいはマーカーで問題文にマークするようにして下さい。問題文はゆっくり読み、とばし読み、早とちりは禁物です。

2) 解答例解説について

解答例を見て、間取、配置計画、外構計画、立面図、断面図など具体的学習します。解答例を通して定石を覚えていきましょう。幾つかの解答例を通じてバリエーションとして覚えていくのも計画上大事な試験テクニックです。

3) 解答例複写について

自分で解答できる受験者は自力で、本試験並に設計図を完成させてOKです。しかし、一般の受験者はまだ自分で設計できるところまで実力が備わっていませんので、A2版の模範解答例を模写(コピー)して、製図に慣れると同時に、本年度課題の間取りなどを徐々に覚えていきましょう。

4) 断面図と立面図の練習について

立面図のかき方を最初に練習します。その際、A2版青図とグリッド倍速作図法を使って学習します。。青図の空いたスペースに2回から3回繰り返して練習して下さい。自分の書いたモノを、講習会では講師に添削してもらいます。同様に立面図を練習して下さい。以上の練習を講習会では3時間前後練習して下さい(時間は現場の状況による)

本日の宿題

想定課題2を本日完成できなかった人は、家で完成させて下さい。断面図立面図も時間内には終わらなかった受講者が多いと思われますが、全てを講習会でこなす時間がないので、自宅で時間をかけて練習して下さい。自宅学習があなたの合格率をアップしますので、試験まで頑張ってください。通信受講者は、講習会参加者と比べ、情報量が少ないので、その分より頑張ってください。通信受講者は課題2を郵送して下さい。課題2のみの添削となります。

第4回 8月7日(日) 8月10日(日)

講習会の学習テーマ

- ・ 課題3の学習
- ・ 1・1・2 Kエスキス法の学習



本日の時間割(通信受講者は下記を参考に学習して下さい)

- 9:30 ~ 9:40 連絡事項
9:40 ~ 10:10 (30分) 課題3の問題文読み合わせ
10:10 ~ 11:10 (1時間) 課題3を1/200のエスキスに変換する
11:10 ~ 12:00 (50分) 自分で作成したエスキスを元に一式図を完成させる
12:00 ~ 12:50 昼休み
12:50 ~ 15:50 (3時間) 一式図を完成作業の続行。完成者は添削を受ける
15:50 ~ 16:20 (30分) 課題3の解説
16:20 ~ 16:45 添削時間
16:45 ~ 17:00 連絡事項
16:50 ~ 17:00 連絡事項
以上ですが現場の状況に応じ、時間の修正を行って下さい。

設計作業とは

建物を設計する場合、建物を環境条件に適応するよう計画したり、お客さんの要望事項に合わせた間取りを考えたり、あるいは、なるべくコストのかからない建物を目指したり、頭を使って建物を考える作業が最初にあります。その作業を『建物の計画』と言います。計画する際、平面の状態を大まかにアイデアをまとめていきます。その過程の作業を粗案とかスケッチとかエスキス(フランス語)とか言います(この講習会では以下エスキスと呼びます)。そのエスキスがまとまりますと、エスキスをもとに、本格的に作図(製図)作業に入ります。今なら実務設計ではCADで図面を書いていきますが、試験では手書きの図面を製図することになります。ですから、設計作業は大きく分けると計画(エスキス)と作図(製図)の二つに分かれることになります。ですから、皆さんは今後、この『エスキス』と『製図』を要領よく学習することが大事です。

『エスキス』と『製図』を要領よく学習

大学や専門学校のように、学問として計画を学習する時間がないので、ここでは試験テクニック徹して計画を学習します。それには、建築士学院のオリジナル想定問題をおよそ9課題ほど学習し、平面をパターン化、あるいはパーツ化して覚えるようにします。ですから、課題の解答例をよく見てその原理を理解暗記するようにして下さい

『速いエスキス』と『速い製図』を身につけること

エスキスを早く完成させるためには、正しいエスキスの技法を身につけて、課題を練習します。また早い製図のためには、数多く図面を練習することが第一です。それと、倍速作図法を守って効率よく作図するテクニックも学んで下さい。

通信で学習している人は「グリッド倍速エスキス法」集文社(2900円+税)に上手なエスキス技法、店舗併用住宅のエスキス技法が詳しくかかれていますので参考にしてください。

第5回 8月14日(日) 8月17日(水)
講習会の学習テーマ
・ 模擬試験 (課題5)



本日の模擬試験の時間

9:30 ~ 10:00 本試験に準じた時間で行いますので、この30分で朝食をとってない人は食事を済ませて下さい。

10:00 ~ 14:30 (4時間半) 模擬試験

14:30 ~ 15:20 (50分) 休憩

15:20 ~ 16:00 完成者は添削を受けます

16:00 ~ 17:00 模範解答例の解説

本日の模擬試験について

8月28日の学科合格発表を控えて、製図講習会はほぼ全期間の真ん中、マラソンで言えば折り返し地点に該当します。講習会真ん中ですので自力で本試験並に各自が解答するのはかなりきついものがあります。しかし、ここで、その厳しい試験を体感してもらう意味も含めて、大手講習会でも、模試となっています。まずできる範囲で解答してもらい、できないところは、今後の学習目標と割り切ってOKです。以上の意味合いから模擬試験を本試験に準じた形で行いたいと思います。

本日の宿題

解答例を自宅で複写します。

第6回 8月21日(日) 8月24日(水)

講習会の主な学習テーマ

- ・ 課題6の学習
- ・ 屋根伏図・小屋伏図・床伏図かき方



本日の時間割

- 9:30 ~ 9:40 連絡事項
- 9:40 ~ 10:10 (30分) 課題6の問題文読み合わせ
- 10:10 ~ 11:10 (1時間) 課題6を1/200のエスキスに変換する
- 11:10 ~ 12:00 (50分) 自分で作成したエスキスを元に一式図を完成させる
- 12:00 ~ 12:50 昼休み
- 12:50 ~ 15:50 (3時間) 一式図を完成作業の続行。完成者は添削を受ける
- 15:50 ~ 16:20 (30分) 課題6の解説
- 16:20 ~ 17:00 (40分) 屋根伏図・小屋伏図・床伏図かき方
- 以上ですが現場の状況に応じ、時間の修正を行って下さい。

第7回 8月28日(日) 8月31日(水)

講習会の主な学習テーマ

- ・ 課題7の独自解答訓練
- ・ フリーハンドテクニクの練習



学習時間表

9:30 ~ 9:40 連絡事項

9:40 ~ 12:10 (二時間半)各自が自力で解答する(フリーハンドで仕上げること)
別紙フリーハンド図を参考にすること

12:10 ~ 13:00 昼休み

13:00 ~ 15:00(二時間)午前の続きで一式図の完成(完成した者から添削を受けること)

15:00 ~ 16:45 完成した者から休憩と添削

16:45 ~ 17:00 連絡事項

フリーハンド図について

本試験では毎年作図条件として、**図面は黒鉛筆仕上げとする(定規をもちいなくてもよい)**と記載されます。一般的には定規をもちいて正確に図面を作成しますが、エスキスで何回か失敗し、残り時間が3時間切ってしまったなどの場合は、遠慮なくフリーハンドで図面を完成させましょう。定規とフリーハンド図と作図にかかる時間を比べると、フリーハンド図のほうが、30分~1時間早く完成しますので、このフリーハンドを徹底練習しましょう。フリーハンド図の見本は別紙フリーハンド図を参考にしてください。講習会では宿題も含めて、最低でも3枚は練習するよう、講師は指導して下さい。

フリーハンド図をかく場合の注意点

フリーハンド図は定規を使わないので、筆圧の関係で、誰が書いても弱いイメージの図面となります。そこで、フリーハンド図の場合は、0.5mm芯ではなく0.7mm芯でB芯を使って書いて下さい。

あと、フリーハンド図で大事なポイントどころは、室名や寸法文字などレタリングは定規図面以上に丁寧に製図文字で仕上げることがポイントです。完成した図面を見ると、え！これがフリーハンド図？と自分で思うほど良く書いてびっくりするはずですので、是非練習して、本試験でエスキスに時間がかかってしまい、時間が無くなっても、自分は2時間前後で図がかけると思っていれば、試験ではずいぶん楽になります。

講師及び受講者への注意事項

フリーハンド図は趣味で書くものではなく、時間がないための懐刀です。ですから、フリーハンド図で一式図を短時間で完成できるよう、タイムを計って練習させて下さい。最初からは無理ですので、2回目3回めには、早くかけるようになりますので、必ずストップウォッチで計測する訓練が大事です。また、逆に、定規よりフリーハンド図の方が時間がかかるという受講者は丁寧に書きすぎのためです。定規を使って書く時間より30分から1時間早く完成できる程度のグレードを目標にしてフリーハンド図を練習させて下さい。以上の理論は、既に1級建築士製図試験で実証されていますので、今回同じ木造で徹底指導して下さい。

第 8 回 9 月 4 日(日) 9 月 7 日(水)

講習会の主な学習テーマ

模擬試験・最後のまとめ・試験に際しての心得



本日の模擬試験の時間

9:30 ~ 9:40 連絡事項

9:40 ~ 14:10 (4 時間半) 模擬試験

14:10 ~ 14:40 (30 分) 休憩

14:40 ~ 16:45 添削及び解答例の解説、質問に回答

16:45 ~ 17:00 連絡事項

本日の学習

講習会も残す 1 回、試験日まで 1 週間を切りました。ここでは本試験形式で課題 8 を行います。直前の模試ですから、問題の内容に関して一切ふれず、行って下さい。終わった者から添削して下さい。最後に課題の解説行い終了です。

本日の時間割

9:30 ~ 9:40 連絡事項

9:40 ~ 11:10 課題 9 のエスキス完成 (1 時間半)

11:10 ~ 12 : 10 (1 時間) 課題 9 の解説と添削

12:10 ~ 13:00 (50 分) 昼休み

13:00 ~ 14:00 (1 時間) 今まで学習した課題の縮小版による解答例の復習

14:00 ~ 15:00 (30 分) 試験に際しての心得

15:00 ~ 15:30 (30 分) 質疑応答

15:30 ~ 15:45 (15 分) 連絡事項で全て講習を終わります